

## 平成 23 年度第 10 回 (1 月) 理事会 議事録

日 時： 平成 24 年 1 月 12 日 (木) 午後 6 時 30 分 ~ 8 時 00 分

会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所

出席者： 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、出野  
山田、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、事務 (岩崎)

欠席者： 宮野、酒井、山中監事

議 長： 今井

### 【 討議内容 】

#### . 行動報告 (12 月分)

別紙参照

#### . 経過報告

##### 1. 日臨技

- ・ 12 月 1 日 会長候補選挙告示
- ・ 1 月 16 日 (月) ~ 1 月 31 日 (火) 会長候補立候補受付
- ・ 3 月 1 日 (水) ~ 4 月 6 日 (金) 投票受付
- ・ 3 月 24 日 (土) 代議員会、総会・懇親会
- ・ 4 月 8 日 (日) 開票、第 3 回役員候補者選出委員会

##### 2. 近臨技

- ・ 12 月 17 日 第 1 回近臨技会議が開催された。  
近臨技理事会メンバーは、各府県の会長、事務局長、学術部長の 3 名 × 7 府県 = 21 名で構成される。近臨技新役員の選出と定款・諸規程案の確認を行った。
- ・ 新暫定役員が決定した。  
会長：富永博夫氏、副会長：山本慶和氏、村田正吾氏、会計：伊藤善祐氏学術：今井宣子氏、事務局：運天政五郎氏
- ・ 定款および各規程 (会計運営規程、学術部運営規程、理事会運営規程、OB 会会則) は確定した。組織運営規程は再検討する。
- ・ 近臨技各府県の会員証において統一した近臨技ロゴマークまたはデザインを使用することとし、大阪府が提案することとなった。
- ・ 福井県開催の学会は 2013 年 10 月 19 日・20 日 フェニックスプラザで開催される。2014 年は大阪で開催される予定。
- ・ 第 2 回理事会は 2 月 26 日に開催される。

##### 3. 事務局

総務部 12 月 21 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 会員受付システムについて検討した。
- ・ 大臨技総会案内について検討した。
- ・ 教育施設への大臨技入会案内配布依頼について検討した。

- ・ 大臨技ニュース 12 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

会計部 12 月 21 日（水）に部会を開催した。

- ・ 11 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 12 月分給与及び賞与を送金した。
- ・ 平成 24 年度事業予算書案を作成した。

渉外部 12 月 20 日（火）に部会を開催した。

- ・ 合同フォーラムについてマニュアルの説明を行った。
- ・ HIV 予防啓発講演会の説明を行った。
- ・ 手話講演会について反省会を行った。
- ・ 献血推進活動について打合せを行った。（平成 24 年 2 月予定）
- ・ 平成 24 年度事業計画について検討した。

#### 4. 事業局

情報組織部 12 月 20 日（火）に部会を開催した。

- ・ 多職種合同 ICT 研修会（平成 23 年 12 月 10 日）についての反省をした。  
参加者は 61 名
- ・ 第 28 回技師長会（平成 24 年 2 月 25 日）について進捗状況を確認した。
- ・ 来年度 事業について内容を検討した

地区事業部 12 月 15 日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会について検討した。  
日程：平成 24 年 3 月 17 日（土）14：30～16：30 まで（14：00 より受付）  
場所：薬業年金会館 6F 大会議室（157 名収容可）
- ・ マタニティカーニバル 2012 について検討した。  
日程：平成 24 年 7 月 7 日（土）～7 月 8 日（日）  
場所：大阪南港 ATC ホール

学術部 12 月 13 日（火）に部会を開催した。

- ・ 次年度の行事予定について検討した。
- ・ 次年度の予算について検討した。

#### 他、報告

##### 1. 日臨技各賞推薦について（今井会長）

今回の日臨技各賞推薦の該当者はなしとする。

##### 2. その他

- ・ 平成 24 年 2 月 3 日に公益認定委員会が開催されるのに合わせて、1 月 13 日大阪府に訂正書類の提出を行う。
- ・ 大臨技新定款において第 22 条と第 32 条を追加した。

#### ・ 議 題

##### 1. 日臨技役員選出委員の変更について（運天副会長）

現在、運天副会長が日臨技役員選出委員を務めているが、運天副会長が来年度日臨技役員に推薦

され同委員を兼ねることが出来ない為、運天副会長の提案で同委員に清水理事を推薦することで理事会承認とした。

2. 日臨技会長候補の推薦について（今井会長）

- ・ 長野県臨床検査技師会会長の宮島氏から日臨技会長候補として、大臨技に推薦依頼があった。これに対し、宮島氏の立候補要旨やマニフェストを検討し、承認した。
- ・ 今後、宮島氏推薦を前提に選挙活動を行う方針で、大臨技ニュースやホームページでの広報、チラシの配布などにより会員に向けての広報をして行くこととした。

3. 大臨技総会について（吉本常務理事）

- ・ 平成 23 年度第 2 回定期総会タイムスケジュール案に沿って説明があった。

日時：平成 24 年 3 月 22 日（木）19：00～20：30

会場：大臨技事務所

感謝状表彰の対象者はなし。

永年会員表彰対象者に関しては、吉本常務理事が、大臨技会員管理システムより抽出する。

第 1 議長は総務・会計部より伊東千絵氏が決定。第 2 議長は學術部より選出する。

資格審査委員長は、高田常務理事、審査委員に荒木理事とし、議事運営委員は學術部員から 3 名選出する。

書記は大臨技事務局の岩崎、出口とする。

今回より、日臨技総会代議員選出はない。

議事録署名人 2 名は、學術部より選出する。

- ・ 委任状について

「委任者欄が白紙の場合は、執行部に委任したこととなる。」ことを追記することとした。

- ・ 今回より、総会案内および委任状は、各総会に合わせその都度送付することとした。
- ・ 当総会の委任状の締め切りは、3 月 3 日(必着)とする。

4. 近畿各府県会員証のロゴマーク等について（運天副会長）

- ・ 近臨技各府県の会員が他府県主催の行事に参加する際に、近臨技各府県の会員であることが受付で確認できるように、近臨技各府県の会員証に同一の近臨技ロゴマークまたはそれに変わるものを印字することとなった。
- ・ 当ロゴマーク案としては、現大臨技ロゴマーク発案時に第二候補となったロゴマークを原案として使用することとした。
- ・ 会員証への当ロゴマーク等の印字位置は、各府県に一任される。
- ・ 当ロゴマーク等の作成費用については、近臨技会計とする。

5. 大阪市衛生検査所精度管理委員について（今井会長）

平成 24・25 年度大阪市衛生検査所精度管理委員の推薦に変更があり、荒木理事の代わりに宮野理事、山田理事の代わりに久保田芽理氏にお願いすることとした。

6. その他

- ・ 大阪府地域医療推進協議会への NPO 法人関西消費者連合会と大阪府言語聴覚士会の 2 団体の加入申請に対して次回の当協議会で審議が必要であるが、開催日未定のため書面表決をすることとなった。

この件について、当会としては承認し、表決承認の返事をする事とした。

- ・ 小島三郎記念技術賞及び福見秀雄賞候補者の当会からの推薦について、該当者の希望に合わせ対

応することとした。

- ・ 平成 24 年 4 月 19 日～21 日開催のバリアフリー2012 の協賛名義依頼について承認した。
- ・ 平成 24 年 7 月 7 日・8 日開催のマタニティカーニバル 2012 の後援依頼について承認した。
- ・ 平成 24 年度予算案について荒木会計部長から説明があった。

平成 24 年度予算に関しては、

先が見えないのでぎりぎりの予算案とし、事業費の配布について、例年どおり年度初めに配布するが、24 年度から一括配布ではなく、分割配布となり、定期預金の取り崩しも視野に入れている。

大臨技会員名簿の作成については、例年どおり JAMTIS データを利用した当名簿作成が出来ないため、予算に上げていない。

日臨技委託事業の予算立てが出来ず、大臨技の事業として予算を減らして予算立てをした。

日臨技の助成金について不確かだが、例年の事業を行うため必要であるため計上した。

事業収入に関しても、参加費無料行事の増加により期待は出来ないが計上した。

- ・ 平成 23 年度日臨技 HIV 予防啓発事業の申請が間に合わなかったため、臨床検査技師ならびに他の医療職種を目指す学生を対象とし、平成 24 年 2 月 4 日(土)に大阪医療技術専門学校において予防啓発講演会として行うこととなった。
- ・ 高田常務理事から大臨技事業の参加受付時に、会員と非会員の参加費の区分について様々な問題が発生しているため、当理事会において検討してほしいとの訴えがあった。

議論の結果、

決まっていることは、次回もう一度整理して行うこととする。

学術は事業全体が公益であるので、公益事業は区別せず統一し、共益事業は区別する。

公開講座でも資料がないと理解できないようなものにする方法はないか？

部会での対応による例外処置方法はないか？

参加費の見直しを行う。

非会員検査技師には、大臨技の事業は技師の運営となっていることを伝える。

次回の理事会に持ちこす事とした。

前回決定した対象区分を整理し、HP 上に掲載し役員に確認してもらう。

以上